

*** 今日の健康 (11月) ***

< 食中毒の発生 (その2) >

<過去のニュースになった近年の主な食中毒事件>

1982年 - 北海道札幌市の西友清田店で、カンピロバクター・ジェジュニと病原大腸菌汚染された井戸水を使用したことで集団食中毒が発生、患者数は7751名にのぼり、当時の日本で最大級の被害となった。

1984年 - 熊本県で製造された辛子蓮根が加工段階の滅菌の不十分と真空パックからボツリヌス菌に汚染、発症者は1都12県に及び11人が死亡。

1996年 - 5月28日に岡山県邑久郡邑久町（現瀬戸内市）で児童468人が0157を原因とする食中毒を発症し死者2人、7月13日にも大阪府堺市で学校給食から児童7,996人が0157に発症し3人が死亡した。0157による食中毒はこの年だけで発生件数179件・患者数14,488人・死者8人にまで達した。（カイワレダイコンとされたが原因不明の事件）



2000年 - 雪印乳業が製造していた脱脂粉乳の製造プラントの故障から、同社製造の加工乳を飲んだ14,780人が黄色ブドウ球菌由来の毒素による食中毒を発症（雪印集団食中毒事件）。

2002年 - 宇都宮市の高齢者施設で調理室内の高温環境から0157が繁殖し、28人が発症し9人が死亡。

2011年 - 「焼肉酒家えびす」で供されていた牛肉ユッケなどを食べた客117人が腸管出血性大腸菌0111による食中毒を発症、24人が重症に陥り5人が死亡（ユッケによる0111集団食中毒事件）。

2012年 - 白菜の浅漬けが製造過程の消毒不十分から0157に汚染、高齢者施設の入居者など169人が発症し8人が死亡（白菜の浅漬けによる0157集団食中毒事件）。

2013年11月14日 - 学校法人香川栄養学園女子栄養大学坂戸キャンパス内で、同大「松柏軒」が運営するカフェテリア学生食堂にてノロウイルスが原因となり159人が発症した。

2014年7月26日 - 静岡県静岡市で開催された安倍川花火大会において、露店で販売されていた冷やしキュウリを食べた客に0157を原因とする集団食中毒が発生。同年8月20日時点で508人が発症、うち115人が入院した。

2017年2月17日 - 東京都立川市で同じ学校給食を食べた市立小学校7校の児童・教職員1098人が、刻み海苔に付着していたノロウイルスによる嘔吐・下痢を発症。

2017年8月22日 - 埼玉県と群馬県の総菜店が販売したポテトサラダなどを食べた人が相次いで腸管出血性大腸菌0-157に感染し、144人が発症し1人が死亡。

(ウィキペディアより)

前澤クリニック 内科・小児科 0422-30-2861

天文台通り多摩信用金庫のななめ裏